

本番さながら

子ども議会

授業の中で学んでいた町議会について、実際の町議会議場で町長に質問をぶつける「子ども議会」が、11月4日（木）役場3階議場で行われました。中学3年生は、本当の町議会のように調べてきた資料を町長に提示し、町長は丁寧に回答していました。

■沼田町の人口増加と移住促進について

藤村虎白 議員

人口増加のために、実際に沼田に来て沼田の人と関係を持つことが移住のきっかけになる重要な要素だと思います。どのようにすれば実際に来てもらえると考えますか。

町長回答

交流人口から関係人口へ。そして移住定住へと進めるために、役場に専門の窓口を開設し、ワンストップで対応しています。今後もサービス向上を図ってきたいと考えています。

交流人口増加のために町民と一緒に魅力発信をして興味をもってもらおう。町民が生き生きと暮らして

ていることをPRしていきます。そして来てくれた人を町の応援団としたい。おもてなしの心で暖かく迎え入れることが重要だと思います。

■沼田町に現在必要と考える「不足する施設」について

菅岡佑来 議員

生徒・町民の安全確保のために街灯を通学路にできるだけたくさんつけてほしい。

町長回答

町内には約五百五十個程の街灯を設置しています。今時点で問題があれば増設は可能ですが、増設すると、追加で電気料が発生し、町内会の負担もありますので、設置する場合、よく相談をして決め

ていきたいと思っています。今回の提案箇所については、暗さも調べ検討したいと思っています。

また今月末に、通学路に防犯カメラが運用されます。カメラの設置表示もして、抑止効果にも期待しています。皆さんも通学ルールを守って、注意して通行してください。



■沼田町の福祉施設の現状 と税金の使い道について

藤村秀美 議員

介護職の人材不足が予想される中で、働くスタッフの負担を減らすため、ITの活用や外国人労働者の採用などを検討してみてはどうか。

町長回答

沼田には3施設とデイサービスがあります。町も、介護職員の負担軽減を図るためICTの導入を図り、入所者の健康管理システムを取り入れ、タブレットで一人ひとりのデータを蓄積しています。外国人雇用はしていませんが、今後考えなければならぬと思います。

藤村秀美議員のそのほかの質問

冬の時期は沼田・秩父別間の一直線の道路が吹雪くことで孤立しているように感じるので、通りやすくしてほしい。

町長回答

現在、防雪柵設置の要請をしています。引き続き努力していきますので、もうしばらくお待ち願いたい。

■農家の取材から考えたこと れからの農業の課題について

高橋陽菜 議員

もつと色々な所に沼田町の農作物などを知ってもらうために、道内のお店に沼田町のチラシ、広告を貼ってもらう。そして、沼田町の農作物を売ってもらうようにしてはどうか。

町長回答

沼田町の農業は、田畑合わせて約4千ヘクタールで作付けされており、その中でも米は令和2年度で37億7千万円を販売し、農作物全体で43億円の売り上げでした。販売促進については、東京の電車内にPRポスターを貼ったり物産展も実施しています。加工場の製品も販売しており、今後更にブランド化を高めたいと思っています。今後自信と誇りを持ってPRしていきたいと思っています。

■沼田町の観光業発展と そのために中学生が考えた 新キャラクターについて

野上知加 議員

観光場所が12カ所あるにも関わらず、生徒たちが行ったことが無い場所がいろいろあることがわかりました。もつとPR活動をして知ってもらうべきではないでしょうか。

町長回答

皆さんが12カ所の観光スポットの中に、行ったことのない所があると聞き、今後は皆さんにも、観光スポットに足を運んでもらうことも必要だと思いますので、町内の見学旅行も検討していきます。観光スポットについては、SNSや動画を活用していろいろな方に見てもらいたいと思いますし、提案してくれたユルキャラについては、全国に発信するために有り難くお受けします。



▲今回提案のあった「ほたまる」

■沼田町PRのために 作成した動画の有効 活用について

山本陽晴 議員

沼田町をアピールするために、町民の方々に協力していただき、PR動画をつくりました。ぜひ感想を聞かせて頂き、どこかで活用して頂きますか。

町長回答

素晴らしい内容でした。是非、第2弾3弾も作ってほしい。みんなの発信が大切だと思いますし、今後、東京や大阪等で沼田町をPRする機会に活用していきたいと思っています。

